2026年 9月 8日

EAJプロジェクト『提言』シンポジウム
パネルディスカッション1

早稲田大学
スマート社会技術融合研究機構（*ACROSS*）

石井　英雄

Data活用

❖ 必要なデータを活用できるようにすること　事例からの示唆

□ 国プロ・NEDO事業のデータの公開・活用促進　⇒　データ扱いを事業の要件へ
- ・METI　PV300　全国の日射データ
- ・METI　BEMSアグリゲータ事業　業務用ビルなどの需要データ
- ・NEDO太田実証　住宅500件強の電気消費量、PV発電量のデータ（1分値）

□ 電力消費データ　サービスの一環で個々人からデータの使用許可を取得

□ オーストラリア、英国、ドイツでDER台帳を整備
- ・情報登録方法
  - 系統接続申請と一体化、市場参加要件化、法による規定

情報の統合

❖ ステークホルダーコミュニケーション

一般社団法人 スマートレジリエンスネットワーク

ロ スマートレジリエンスネットワーク（SRN）

・脱炭素、レジリエントな社会の共創
　DER普及・価値向上・活用促進、
・多様なステークホルダーの参画
　一般送配電事業者、小売事業者、アグリゲータ、メーカ、サービス事業者、有識者
・エネ庁（EV-Grid）、NEDO事業（コネマネ2.0）、脱炭素先行地域（地域事例）等、連携
・海外事例を調査し、日本でのDER台帳の在り方を検討



出典：スマートレジリエンスネットワークHP
https://s-reji.com/about/